



高ちゃんつうしん

* 2015. 10 No.43 *

市議会:087(839)2831

自宅:087(888)3272

eメール:takachan@mxi.netwave.or.jp

HP:http://wwwi.netwave.or.jp/~takachan/



9月、自公政権の重要課題の一つでもありました、念願の女性活躍推進法が成立致しました。



昨年5月、公明党女性委員会の政策提言「女性の元気応援プラン」を政府に提言し、同6月には、すべての女性が活躍できる社会環境の整備を推進するために「女性活躍推進加速化法案」を提出しましたが、今回の推進法に大きく反映されました。

この法律は、働くことを希望する女性を応援するもので、そのための社会環境を整備していきますが、国や地方公共団体、企業の取り組みが更に加速されると大いに期待しています。

私は、9月議会において、会派代表質問でこの点について、また、まちひとしごと創生法に基づき、人口減少の克服と地域力の向上に向けて、高松市の実情に応じた今後5年間の目標や施策の基本的方向、具体的な施策を示す、たかまつ創生総合戦略についてなど合計8項目質問を致しました。

今後市民の声の代弁者として、また高松市が将来に亘って、安全・安心のまちとなれるよう全力で取り組んで参ります。

高ちゃん活動日誌



一宮町の長年傷んでいた道路補修がやっと完成しました。

昨年6月、Tさんから長年傷んでいる道路があるので、是非一度現場を見て、できれば補修整備をしてもらいたいとのご要望を頂きました。現場を見て傷みの範囲も意外に広く、Tさんも懸命に同意書を取り付けて下さり、担当課との調整で翌年工事となり、10月やっと完成致しました。



● 9月議会報告(代表質問) ●



質問

- ①これまでの取組についての感想とたかまつ創生総合戦略(仮称)への反映、また特に強調したい点
- ②MICE誘致のために認証資格を持つ人など専門性を有する人材育成を行う考え
- ③市民への更なるおもてなしの醸成を図る取組
- ④連携中枢都市圏域での観光情報の一元化や周遊ルートを考えるなど圏域全体での観光・MICEの推進を図る考え
- ⑤妊娠・出産・子育ての本市の切れ目に対する認識
- ⑥高松版ネウボラをつくり、安心の出産、安心の子育てを実施する考え
- ⑦たかまつ人口ビジョン(仮称)に対する決意

たかまつ創生総合戦略(仮称)について

答弁

- ②今後、高松観光コンベンション・ビューローにおいて、民間企業等で、MICEの開催等に関わった経験のある人材の登用や、専門知識を有する人材の育成を一層推進する。
- ⑥高松版ネウボラとも言うべき、子育て世代包括支援センターで、保健師、助産師等の専門職のコーディネーターを配置し、全ての助産婦等の状況を継続的に把握し、個々の生活環境や健康状況に応じて、妊娠期から子育て期にわたる、各段階の支援プランを策定し、相談・支援を行い、医療機関や児童福祉機関、子育て支援団体などと緊密な連携と情報の共有を図り、包括的な支援を行う予定。まずは、28年4月保健センター内に設置し、29年以降、六つの総合センターにおいて、順次展開していく。

質問

- ①第6次行財政改革計画の25年度・26年度実績に対する所見と計画達成への決意
- ②今回の公開事業評価の選定条件と意義
- ③クラウドファンディングを活用するなど、新しい財源確保策
- ④ふるさと納税の今年度の状況、今後の取組と企業版ふるさと納税など新たな取り組み

行財政関連について

質問

- ①今後の住民との合意形成の図り方
- ②県や連携中枢都市圏として想定される自治体等との今後の取り組み

ファシリティマネジメントについて

質問

- ①市民のマイナンバー制度への不安を払拭することや利便性などによる理解の促進
- ②個人番号通知をやむを得ない理由により住所地で受け取れない方に対する本市と医療機関等との連携
- ③特別な配慮が必要な方への制度の周知方法
- ④本市の情報セキュリティ対策

マイナンバー制度について

答弁

- ④これまでの情報セキュリティ対策に加え、マイナンバー用の接続端末を限定し、ウイルスを検出する機能の強化などの対策を行うほか、職員の意識を高めるため、サイバー攻撃対応訓練を含む、情報セキュリティ研修など人的面での対策も検討していく。

質問

- ①更なる受動喫煙防止対策を強化する考え
- ②胃がん・肺がんも加えた個別受診勧奨・再勧奨の拡大推進を図る考え
- ③社会保険労務士による就労支援相談を行う考え
- ④ヘルスケアポイントで健康寿命を延ばす考え

がん対策について

答弁

- ①健康都市連合加盟の趣旨を踏まえ、市有施設の敷地内禁煙・建物内禁煙について、健康都市推進ビジョンの目標達成時期を35年度末を待つことなく、5年程度前倒して、30年度末までに原則実施できるように検討を進める。
- ②胃がん・肺がん検診について、効果的な受診勧奨方法を検討する

質問

- ①生活困窮者自立支援制度の取組状況と課題
- ②制度のきめ細やかな周知方法と早期発見・早期支援のために関係各課や関係機関との連携体制強化を図る考え
- ③就労支援のための関係各課や関係機関と連携した取り組み
- ④就労以外の様々な問題で相談に来る方への対応

生活困窮者自立支援について

答弁

- ④民生委員・児童委員や高松市社会福祉協議会などとの連携を一層強化し、生活困窮者に寄り添いながら支援をしていく。

質問

- ①女性の活躍推進法成立についての所見
- ②女性職員が活躍推進をするための議論の場を設定し、課題解決に取り組む考え
- ③夏の朝型勤務の試験的な取り組みと課題及び、来年度の実施
- ④本市男性職員の育休取得率向上の更なる取り組み
- ⑤第3次たかまつ男女共同参画プランのこれまでの取組と意識調査を踏まえた評価
- ⑥次期男女共同参画プランと併せて女性の活躍を推進する推進計画を策定する考え

女性の活躍推進について

答弁

- ①働きたい女性がその意思によって職業生活を営み、その能力を十分に発揮することができる社会づくりが着実に進んでいくものと期待している。また仕事と家庭を両立しながら、働き続けることは、地域経済の活性化にもつながるので、たかまつ創生総合戦略において、その関連施策を反映していく。
- ③これまでの取り組みを抜本的に見直し、育児休業取得率向上に向け、「育ボス」「育メン」の養成を積極的に推進するほか、他都市の事例を参考に、今後効果的な取り組みを検討する。

質問

- ①本市の不登校児童生徒の現状と今後の対策
- ②不登校児童生徒の情報を福祉部門につなげるしくみをつくる考え
- ③フリースクールに対する所見
- ④フリースクールへ通っている子供たちの実態調査を実施し、子供たちの声を生かせる取り組み
- ⑤本市でフリースクールの子供たちも学生割引や学校施設の使用を可能とする考え

教育問題について

答弁

- ②「ひきこもりサポーター派遣事業」などについて、関係部局と連携を図りながら、学校に対して、校長研修会などにおいて周知し、保護者に対しても啓発するように指導していく。
- ③学校に通うのが難しい児童生徒にとって、家庭に引きこもらず、フリースクールに通うことにより、自立性や社会性を養い、学校や社会復帰につなげる場所として意義がある。
- ⑤フリースクール等が、学校施設を使用することについては、現在国の有識者会議において、教育制度上の位置づけや経済的支援のあり方等、フリースクールで学ぶ子どもたちへの公的支援について、検討が進められているので、国の動向を見極め、適切に対応していく。

ご存知ですか？



待ちに待った！瓦町FLAG 10月23日グランドオープン！

瓦町FLAG 8階の市民交流センターの愛称も決まりました！



KAWARAMACHI FLAG

I K O D E (いこうで) 瓦町です。

行政サービスの充実や中心市街地活性化、瓦町地区にぎわい創出のスタートです。

あっちこっち
高ちゃん



8月14日 「高松まつり」は、今年で記念すべき50回目を迎え、「ものっそ」を合言葉に、盛大に開催され、総踊りでは都市提携を結んでいる水戸市、彦根市、金沢市の議員の方々とも一緒に踊りました。



8月22日 一宮バルーンフェスタに参加してきました。



9月5日 高松で19年間フリースクールを運営されてきたヒューマン・ハーバー主催の多様な子どもの成長と学びを考えるシンポジウムに参加してきました。



9月13日 NPO乳房健康研究会15周年記念、ピンクリボンカンファレンス2015に参加してきました。



9月20日 山本ひろし参議院議員と一緒に、丸亀市音楽療法センターフロイテで行われた障がい児等の音楽療法講座を受講し、音楽療法の素晴らしい効果を改めて認識致しました。



9月22日 高松三越前にて、北関東東北豪雨被災者救援の募金活動をさせて頂きました。シルバーウィーク期間でしたが、大勢の方々の真心を感じた時でした。

編集後記

平成20年ごろより、身近でできる社会貢献として、今まで書き損じはがき回収を行ってきましたが、新たにペットボトルキャップなどの回収も実施し、10月3日に業者へ搬入致しました。これまでの累計個数 207,073個となり、CO2削減にも貢献できました。「持続は力」何事もコツコツが大事ですね。

